



Title	＜翻訳＞Д. ナツァグドルジ「青春は花の如く」
Author(s)	Д., ナツァグドルジ; 織田, 幸彦
Citation	モンゴル研究. 2024, 33, p. 50-50
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/102413
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

《翻 訳》

青春は花の如く

Д. ナツァグドルジ
(訳) 織田 幸彦

若くして死にたい人は誰？
いやいや、誰も望まない
長寿の秘訣は？
いやいや知らないよ、誰もね

健康すなわち長寿なり
それはあなたの気遣い次第
青春は
ダリアのように

ゆらゆら揺れる花を
色なき風が翻弄する
健やかな身体に
病魔忍び寄る

花を飾れば
日ごと水を遣り
身を守るには
常々予防、怠りなく！

原題 Залуу Нас Цэцгийн Адил (Д.Нацагдорж) 1935 年

.....

上の2篇はいずれも啓発の詩です。「科学」は原文の頭韻を意識しながら、擬古文調にしました。昨年訳者はウランバートル市内のガンダン寺にお参りしましたが、僧侶は皆さん真面目そうな方ばかりで封建時代の生臭い片鱗は全く無かったです。「青春は花の如く」については3連にある Намрын салхи (秋風)の厳しさ辛さを、私は知らないままです。真夏(7-8月)の優しい季節しか訪問したことがありませんので。夭折した詩人の花卉は、投獄され、公私ともに世間の苛烈な風に揺さ振られ、無残にも散り散りになったようです。

(おだ さちひこ)